

授業科目 援助的人間関係論

【担当教員名】 佐藤 信枝		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 人間関係、特に看護実践における援助的人間関係の基礎的な理論やスキルについて理解を深める。自己理解や他者を理解すること、そして、基本的なコミュニケーションスキルを、演習や小グループでの話し合いなどの体験を通して修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 看護における援助的コミュニケーションの意義・目的を説明できる。 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程を説明できる。 3. 援助的コミュニケーションにおいて必要な基本的態度が説明できる。 4. 援助的コミュニケーションにおける基本的な技法が活用できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	看護におけるコミュニケーションの意義・目的	1	講義		
2	コミュニケーションの構成要素と成立過程	2	講義		
3	関係構築のためのコミュニケーションの基本	3,4	講義・演習		
4	効果的なコミュニケーションの実際	3,4	講義・演習		
5	コミュニケーション障害への対応	3,4	講義・演習		
6	フィードバック演習	3,4			
7	フィードバック演習	3,4			
8	看護における援助的人間関係の振り返り	1～4	講義・演習		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		基礎看護技術1	有田清子、今井宏美、榎本麻里 他	医学書院	2012・2,600円＋税
		コミュニケーションセンス	福田健	文春社	2001・1,400円＋税
		看護ケアのコミュニケーション術	菅佐知子、宮島朝子、若村智子	医学芸術社	2009・2,500円＋税
		改訂看護実践のための心理学	河合優年 他	メディカ出版	2001・2,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験 (50%) レポート (50%)		【履修上の留意点】			